

CLEAN CREW



美ら沖縄

(一社)沖縄県ビルメンテナンス協会

URL <http://www.obma.or.jp>

会報

第36号

平成29年1月

年頭会長挨拶

一般社団法人

沖縄県ビルメンテナンス協会



会長
新垣 淑典

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年、国内において熊本地震や阿蘇山の噴火、梅雨の豪雨など相次ぐ自然災害が発生しました。また年末には北海道から熊本・宮崎に広がる鳥インフルエンザの発生と、業界内外に緊張を強いられた一年でした。

このような多くの問題がある中、県経済は失業率の低下や賃金の上昇などの雇用環境の改善により消費は好調を続けました。また円安などを背景に外国人観光客が増加を続けたことから拡大の動きが続きました。

一方我が業界においては、東京オリンピックや那覇空港第二滑走路増設による観光需要を見据えた世界的ブランドホテルのオープン・事業計画発表や観光関連施設の増加等が進められています。しかし喫緊の課題である人材確保に対して採用難、人手不足が続く中で地域最低賃金の大幅アップ、それに對して既契約先との契約金額改定交渉など、業界の環境の厳しさは昨年同様続くものと思われまます。

本年もまた新しい一年がスタートします。やるべき事は山積していますが、

「お客様に喜んで頂く」質の高いサービスを提供する為、協会員の皆様と一丸となつて、業界の地位向上に出来る事から取り組んで参りたいと存じます。結びに、本年が皆々様にとりまして幸多き飛躍の年でありませうよう祈念申し上げ新春のご挨拶といたします。

新春懇親会



平成二十九年一月二十七日ホテルロイヤルオリオンにて協会会員、組合会員、賛助会員による合同新春祝賀会が盛大に開催されました。道翁会師範金城由美子氏、砂川るみ子氏による「かぎやで風」で幕開けし、主催者を代表して新垣淑典協会長から日頃より協会、組合活動の協力に感謝とまた近年当業界の現状、そして更なる発展を祈念する挨拶がありました。来賓挨拶では沖縄県知事翁長雄志氏（代理 保健医療部 統括監 糸数公氏）、衆議院議員宮崎政久氏、県議会議員照屋守之氏、翁長政俊氏より近年建築物の高度化、複雑化が進んでおり建物の環境衛生を確保する観点から当業界が果たす役割がより一層大きくなるとの期待の祝辞がありました。

また祝電で那覇市長城間幹子氏、



衆議院議員国場幸之助氏、比嘉奈津美氏、参議院議員宇都隆史氏より祝電がありました。乾杯の挨拶を（一財）沖縄美ら島財団理事長花城良廣氏より沖縄式乾杯「カリー」の音頭で参加者一同によつて行われました。その後懇談会では大山克二副会長率いる生バンドがより一層新年会を盛り上げました。

最後に、佐渡山安秀組合理事長が閉会の辞を述べ終了いたしました。また、当日午前八時から新春ゴルフコンペをパームヒルズゴルフリゾート（糸満市）にて八組三十二名参加のもと天候にも恵まれ心地良い雰囲気の中プレーを楽しみました。上位順位者次の通りです。優勝佐渡山安秀、準優勝金城秀雄、第三位大山克二以上の方々がでした。その他各賞も多数用意され終了しました。

第十二回 環境衛生シンポジウム

第十二回環境衛生シンポジウムを平成二十八年十月二十日沖縄県・那覇市・県内マスコミ各社後援にて沖縄県立博物館・美術館講堂において会員・賛助会員・一般等約百七十人が来場し開催致しました。



今回は「災害時における我々の役割」をテーマに社会福祉士、防災士、沖縄大学・沖縄国際大学特別研究員の稲垣暁氏による

基調講演が行なわれました。

近年日本各地及び世界各国で発生している大規模災害の事例を基に、講演を進めてまいりました。中でも災害後の避難生活のリスク及び二次災害での避難場所不足による車中泊が及ぼす人体への影響、トイレやゴミなどの影響による劣悪な生活環境の実態、さらに沖縄が持っている固有のリスクについての話も印象的でした。また、咳き込む高齢者、乳幼児、発達障害児を抱える親、精神系疾患を抱える人などが他の避難者の迷惑になるからとの理由で避難所生活がままならない環境は課題の一つだと感

じました。

続いて活動報告として沖縄赤十字病院の佐々木秀章救急部長は「医療からみた災害現場で感じたこと」をテーマに災害時の病院の状況について自身の災害医療現場での経験をふまえた内容にて講演して頂きました。多数の患者が押し寄せる状況や病院機能が一階に集中していたため津波被害で全て消失した事例を基に病院のインフラ強化やマニュアルの整備・訓練、非難対策、赤十字救護班等の充実、災害医療コーディネート制度の導入等の対策を行っていると話がありました。

次にイカリ消毒(株)熊本営業所の佐藤宇俊所長より熊本震災での衛生管理に関する活動内容として避難所や



車両に防虫ネットカーテンの設置、避難所周辺の蚊の駆除、害虫の生息調査、ネズミの駆除、清掃・洗浄等の活動報告がありました。またパネルディスカッションにおいては「災害時に衛生状態を保つために必要なものは」との質問に対し自身の経験を踏まえ「手洗いの重要性、トイレの美観維持、害虫が発生しづらい環境の管理」との回答がありました。引き続き活発な質疑応答が行われた後にシンポジウムは閉会いたしました。

平成二十八年年度 県立病院ラウンドチェック

最先端品質評価部会長

山城 弘

平成二十八年年度の県立病院ラウンドチェックは九月十二、十三日に宮古病院・八重山病院、二十一日に北部病院、中部病院、南部医療センター、精和病院を実施致しました。毎年実施する事により、現場意識も高揚し品質レベルも向上してきました。

私も最先端品質評価部会も毎年課題をもってラウンドチェックを行っており、今回は、現場の清掃業務が欠陥メンテナンス・蓄積メンテ



ナンスになつていないかを重点に診てまいりました。

欠陥メンテナンスとは、「我々の作業により清掃対象建材を傷つけたりしていないか」、蓄積メンテナンスとは、「清掃を行うことにより逆に汚れを蓄積させていないか」、の観点で実施し、教育指導を行いました。部会としては、協会各社のクリンクルーのレベルアップを図りたいと考えておりますので、教育研修の要請を頂ければと思っております。

『第三回ソフトバレーボール大会』

平成二十八年九月十七日与那原町観光交流施設に於いて、参加六社九チーム、約百三十名近く多数の応援団のもと開催されました。

A B Cの三つのブロックに分かれて予選リーグが行われました。

ソフトバレーボールでは通常のバレーボールより大きく柔らかいボールを使用する為コントロールしづらく、多くの珍プレー・好プレーが見られました。

決勝戦は、準決勝で前回優勝チームの(株)国際ビル産業Bを熱戦の末破った(株)沖縄ダイケンAチームとBチームとの同社対決となりました。Aチームが第一セット、Bチームが第二セットをそれぞれ奪い、迎えた最終セット、Aチームが大接戦の末、ゲームカウント二対一で第一回大会以来二度目の優勝を果たしました。

ソフトバレーボールは、初心者や女性の方々でも気軽に参加し易い競技です。次回大会には更に多くのチームや応援団の参加をお待ち致します。

今回の大会も怪我等もなく無事終えることが出来ました。関係者、ご参加頂きました皆様、有難う御座いました。

順位は次の通りです。

- 優勝 (株)沖縄ダイケンAチーム
- 準優勝 (株)沖縄ダイケンBチーム
- 第三位 (株)国際ビル産業Aチーム



『第十七回ボウリング大会』

平成二十八年十二月一日波の上のサラダボールにおきまして、毎年恒例のボウリング大会が開催されました。

参加チームは、前回は上回る十七チームが参加し、明るい笑い声が響く中、真剣な眼差しでストライクを狙う各選手の熱い戦いが繰り広げられました。

試合後の懇親会では、各社からご提供いただきました景品を上位入賞者及び各賞の副賞として贈呈させていただきました。会場は、大いに盛り上がり楽しい時間を過ごすことができました。

加企業間の良いコミュニケーションの場となり親睦を深めました。ボウリングは、老若男女幅広い年齢層が楽しめるスポーツです。気軽に参加できますので、次回はより多くの皆様にご参加いただければと思います。

☆上位の成績は次のとおりです。

- 団体優勝 (株)総合ビル管理
- 準優勝 (株)沖縄ダイケン
- 三位 (株)リード沖縄
- 個人優勝 宮西和人(株)総合ビル管理
- 準優勝 宮城英人(株)総合ビル管理
- 三位 上原幸裕(株)沖縄ダイケン



平成二十八年度 労働安全衛生大会

労働安全副委員長 喜世川 優

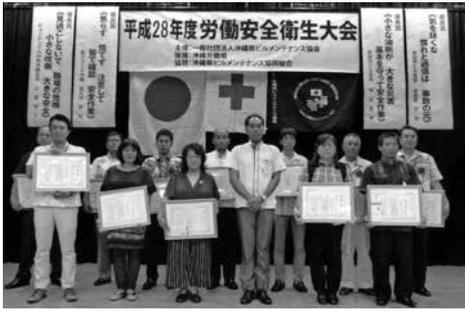
十月十三日、浦添市産業振興センター結の街にて三十六社、一二〇名の参加で開催された。

沖縄労働局より健康安全課長幸地光彦氏を招き、労災状況及び健康管理の両面での沖縄県の状況報告を頂いた。

第二部には、例年、基調講演を頂いているが今回は事例発表として、(株)国際ビル産業鳥居秋則氏と「労働災害とリスクアセスメント」共栄ビル整備(株)山城弘氏の「安全と衛生及び環境に考慮したメンテナンスを目指して」とそれぞれのテーマで、より実践に即した発表で聴衆の関心を集めていた。

安全標語表彰では、数多くの作品が寄せられ入賞者には表彰状及び金一封を授与した。

最後に、表彰者を代表して渡嘉敷吉晃氏の音頭で参加者全員が「労働安全宣言」を唱和し、ゼロ災害を目



指し誓いを新たにし散会した。近年、労災発生件数の増加が危惧されていますが、この大会を通じ、会員各社が労働安全の啓蒙と、現場で働く皆さんの無事故を願っているところです。

入賞者

優秀賞

小さな油断が大きな災害

基本を守って安全作業

仲田 義孝 (株)総合ビル管理

優良賞

渡嘉敷吉晃 (株)国際ビル産業

渡久地政和 (株)クリード沖縄

上里 惇子

ビューテック九州(株)沖縄支店

沖縄県特別支援学校技能検定

事業委員長 大嶺 健太郎

文部科学省の委託事業として高等学校段階における障がいのある生徒へのキャリア教育・職業教育を推進し、労働や福祉等の関係機関と連携しながら就労支援を充実する実践的な研究を特別支援学校高等部において実施しました。その研究成果を社会に発信することにより、障がいのある生徒の自立と社会参加を加速度的に推進することを目的に沖縄県教育員会が本年度から初めて「沖縄県特別支援学校技能検定」を始めました。

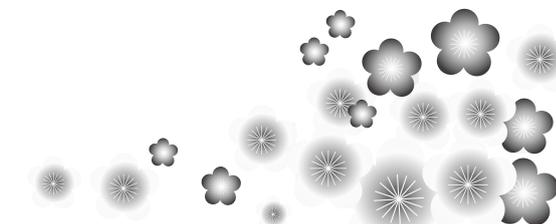
当協会は、平成二十三年一月に沖縄県教育員会との特別支援学校に関する協定書を締結しており、協定に基づき全面的に協力致しました。検定種目は四種目、当協会が関連する「メンテナンス部門」は三種目、テール拭きや自在ほうき掃き、湿式モップ拭きがあります。

検定は、十一月十七日に沖縄高等特別支援学校体育館を会場に開催、平成二十九年二月九日に第二回目の開催を予定しております。

今回の技能検定を開催するにあたり、当協会は平成二十七年七校、平成二十八年度九校に講師を派遣し、会員の(株)国際ビル産業からも沖

縄高等特別支援学校へ毎週二時間の技能指導を平成二十七八年の二年間、講師の派遣をしました。

検定には、一種目三名の検定員、補佐員一名の四名三チーム、計十二名の専門員を派遣し、会場のコート設営検定運営全般に渡り協力、メンテナンス部門は十一校の特別支援学校分教室から四十九名の生徒さんが受検され一級二十一名、二級二十一名、三級七名の合格者が誕生しました。



那覇市との災害協定

那覇市と当協会は平成二十八年十一月二十八日、他団体企業共々城間幹子市長と大規模な災害における協力を関する協定を締結しました。内容は、大規模災害時において避難所等建築物の環境衛生面にかかる被害状況の確認及びその対処、清掃及び消毒等の環境衛生維持に関する処置について協力をすることに關する協定であります。

今後、会員各社より実際に実施する場合を想定し対応する環境消毒専門職員・クリーンクルーの派遣・選抜をお願いすると共に、今後災害訓練の実施検討を図っていきたく思います。



協会活動日誌

日時	活動内容	参加数	参加者	備考
8月4日	県立病院ラウンドチェック水準調整会議	8名	委員	協会2F 会議室
8月10日	第3回総務・経営委員会	6名	会長・委員	協会2F 会議室
8月23日	第3回広報交流委員会	4名	委員	協会2F 会議室
8月25日	第4回理事会・代表者会議	31名	会長・理事・監事・代表者	沖縄県卸商業団地組合 会議室
9月6日	防除作業従事者研修講師会議	2名	講師	協会2F 会議室
9月9日	平成29年度入札陳情要請(うるま市)	5名	三役・委員長	うるま市役所
9月13日	第3回労働安全委員会	5名	委員	協会2F 会議室
9月14日	清掃作業従事者研修講習会(中部)	18名	講師・受講者	ポリテクセンター沖縄
9月15日 ~16日	清掃作業従事者研修指導者講習会(新規・再講習)	58名	講師・受講者	ポリテクセンター沖縄
9月17日	第3回ソフトバレーボール大会	96名	会員	与那原町観光交流会館
9月21日	県立病院ラウンドチェック	8名	事業委員・最先端品質部会員・病院側・担当者	県立6病院
9月23日	貯水槽清掃講師部会会議	3名	講師部会	協会2F 会議室
10月4日	第4回総務・経営委員会	6名	会長・委員	協会2F 会議室
10月5日	平成29年度入札陳情要請(市長会)	5名	三役・委員長	南城市役所
10月13日	平成28年度労働安全衛生大会	117名	会員・組合員・非会員	浦添市産業振興センター
10月14日	防除作業従事者研修会	49名	講師・受講者	浦添市産業振興センター
10月17日	平成28年度ビルクリーニング技能検定補足講習会	10名	講師・受講者	ポリテクセンター沖縄
10月20日	第12回環境衛生シンポジウム	156名	会員・一般	県立博物館・美術館講堂
10月24日	平成29年度入札陳情要請(那覇市)	10名	市管財課	那覇市役所
10月24日	清掃作業従事者研修講習会(那覇)	23名	講師・受講者	九州沖縄トラック研修会館
10月27日	第2回親睦ゴルフコンペ	27名	会員	那覇ゴルフ倶楽部
10月28日	平成28年度ビルクリーニング技能検定補足講習会(学科)	15名	講師・受講者	ポリテクセンター沖縄
11月11日	県特別支援学校技能検定担当者会議	9名	講師・補助員	協会2F 会議室
11月15日	第5回総務・経営委員会	5名	会長・委員	協会2階 会議室
11月15日	内閣府沖縄総合事務局へ陳情要請	6名	3役・理事	沖縄総合事務局
11月22日	貯水槽清掃作業従事者研修会	63名	会員・一般	浦添市産業振興センター
11月28日	平成29年度入札陳情要請(沖縄県)	9名	県管財課・病院課・県警	県庁・県警本部
11月28日	那覇市との災害協定締結	5名	会長・理事	那覇市役所
11月30日	第5回理事会	11名	会長・理事・監事	沖縄県卸商業団地組合 会議室
12月1日	第17回ボウリング大会	68名	会員	サラダボウル
12月14日	公契約勉強会	12名	会長・理事	協会2F 会議室
12月14日	第4回広報・交流委員会	4名	委員	協会2F 会議室
12月27日	3役・各正副委員長会議	14名	3役・正副委員長	ネストホテル那覇
1月27日	平成29年新春懇親会	130名	会員・賛助会員・来賓	ホテルロイヤルオリオン



現場で働く皆さんの生の声をお届けします。質問内様は
 ①入社して何年目ですか？
 ②現場での苦労は？
 ③今後の抱負は？

有限会社宮古ビル管理

①清掃主任 下地和男（入社二十四年目）

県立宮古病院清掃班 二十三名
 ②病棟のタイルの色が白く、汚れが目立ちやすい。また、病室内の定期清掃は、満床のため入室しづらく、床の汚れがうまく落とせないことがあり、入院患者か



らのクレームを受けることもありました。病院の清掃は、特殊な設備もあり、専門的な知識と技術を要するため、定期的に社員教育を行っています。
 ③医師、看護師、医療関係の方や、患者が、仕事・療養に集中できるように、常に気を配りながら、社員一同、頑張っていると思います。



八重山ビル管理株式会社

①担当主任 大濱桃子 他六名
 入社八か月目になります。

②私達は南ぬ島石垣空港の施設を清掃しております。近年国内外の観光客も増え、トイレの清掃回数も非常に多く、やりがいがあります。空港ターミナル内の美観を保ち、日々清掃をする為、一日の歩く距離は五kmになり、業務終了後は足が棒のようになりますが、楽しく心配りをモットーに業務に専念しております。
 ③今後も引き続き気持ちよくお客様を迎え、送り出せるように空港の美観に努め、日本一を目指して、皆で力を合わせて頑張っていきたいと思えます。



◆◆編集後記◆◆

昨年も政治や経済で様々な出来事が起きました。そして、厚生労働省から赤ちゃんの数（出生数）が九八万人と公表されました。出生数が一〇〇万人を割り込むのは、統計を取り始めた一八九九年以降初めてで、少子化に歯止めがかからない状況が改めて浮き彫りになった年となりました。

人口の減少は、国力・経済の低下に繋がります。出生数が増加に転じるには、子ども・子育て支援対策を大転換して、「現在とはまるで違う社会」を作り上げる必要があります。西年は、「トリ↓とりこむ」に繋がりが行動力があり、積極的、親切で世話好きであるという意味もあるそうです。

「変わるわけがない」という思考停止から解放されるためにも、今までと同じように、「トリ」組むのではなく、新しい発想で、「トリ」組み明るい明日を信じて日本の元気を、「トリ」返す年にしたいものです。

◇発行責任者 新垣淑典

（二社）沖縄県ビルメンテナンス協会会長
 那覇市曙二丁目二十七番十四号
 電話〇九八（八六一）二七四二

◆◆会員動向◆◆

【社名変更】

新／株式会社沖縄日本管財
 旧／沖縄星光株式会社

【所在地変更】

株式会社大洋
 新／那覇市安謝一―二十二―十九
 旧／那覇市銘苅三―一六―二十
 一―二階

